



山陰いいもの マルシェ in 米子

中海・宍道湖・大山圏域を中心に、山陰の逸品を一堂に集めて販売する「山陰いいものマルシェ」が9月18日、米子市で開催されます。

良質な農水産品や加工品、工芸品など山陰が誇る選りすぐりの「いいもの」が集まります。情報はホームページ (<http://sanin-iimono.jp/>) をご覧ください。

・日時：9月18日(月・祝) 午前10時～午後4時

※荒天中止(小雨決行)

場所：える・もーる一番街、米子市公会堂周辺(米子市角盤町)

主催：山陰いいものマルシェプロジェクト実行委員会



San'in-minato
Isumi Yanago
Matsue

山陰
まんなか
共和国
中海・宍道湖・大山圏域市長会

中海・宍道湖 ・大山圏域 市長会 通信③

問い合わせ：市長会事務局
(☎0852-55-5056)

安来市は中海・宍道湖沿岸の5市で圏域市長会を組織し、共通課題の解決や事業を進めています。ここでは圏域市長会の最近の取り組みを紹介します。

■『中海・宍道湖・大山圏域インバウンド機構』を設立

圏域がさらに発展していくためには、観光振興は欠かすことができない分野の一つです。7

月14日には、市長会と各市の経済界、観光協会とともに『中海・宍道湖・大山圏域インバウンド機構』の設立総会を開催。圏域の観光振興の舵取り役として新たなスタートを切りました。

この組織を中心に、圏域の情報発信をはじめ、テーマごとの周遊観光、増加傾向にある訪日外国人の受け入れ環境の整備などに取り組んでいきます。また、鳥取・島根両県の山陰インバウンド機構とも連携し、一体となって観光振興を進めます。

○今年度取り組み主な事業

- ・クルーズ客船寄港時のおもてなし(岸壁での観光案内、交流イベント)
- ・外国人観光客受入環境整備、海外への観光プロモーション

- ・三大都市圏への圏域PRプロジェクト
- ・圏域観光の魅力アップ事業(パンフレット等の作成)

○最近の取り組み・動き

- ①ブータン王国調査団来訪
ブータン王国「全国総合開発計画2030」策定プロジェクトの一環として、調査団が圏域を来訪しました。(5/22)
- ②JRキャラバン実施
関西方面からの誘客を図るため、JR神戸駅など京阪神の主要駅で圏域の観光PRを行いました。(6/17・18)



▲クルーズ船の歓迎では安来節を披露しています。

③クルーズ客船寄港時のおもてなし
圏域5市が協力して、乗船客向けの交流イベントや観光案内を行っています。今年は12月末までに63回のクルーズ船が寄港予定です。

2017

しまね人権フェスティバル

みんなで築こう人権の世紀
～心と心つなげて未来や安来から～
同時開催「人権・同和問題を考える県民のつどい」

日時 10月15日(日)
10:00～15:30
会場 総合文化ホール
アルテピア



◆内容 梨の木園ハンドベル演奏、切川保育所どじょうすくい踊り、しまねっこだんすミ子切川保育所、六子ライブと紙芝居読み聞かせ、よしとtakuの紙芝居、啓発展示、人権相談コーナー、飲食ブースなど。

◆講演会 演題『私たちはなぜ生まれてきたのか? 小説「あん」でハンセン病快復者の人生を描いた意味』講師 ドリアン助川さん(作家、詩の道化師)

※入場料 無料

※手話通訳・要約筆記あり
問い合わせ 市人権施策推進課 ☎23・3095、
人権啓発推進センター ☎0852・22・6051